

絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援下さる皆様へ
近況報告、絃友会便りをお届け致します。
発行 絃友会事務局・新谷真由美 2013.11.29 (No.93)

劇作家・小川信夫先生のお

とも

今夏、神奈川県立麻生総合高校より、川崎と沖縄の繋がりについて講演依頼がありました。公演はできますが講演は???お話できないから歌っているのです(笑)などと思い悩み・・・閃いた方が、川崎市民劇の作者・小川信夫先生!!! 戦前・戦中・戦後をご自身の目で見て生きてこられた大先輩の講話は生徒以上に私が感動いたしました。

その日の更なる感動は、プロジェクターの操作に時間を費やしてしまっても、大人たちの頑張る姿を温かく待っていてくれた生徒たちのおもいやりの心・・・とっても心豊かになれた一日でした。

お話の後に三絃演奏もあつたらいいかな、急ぎよ絃友会も応援。



明美&紗織

かわさき人権フェア 2013

11月23日、川崎地下街スタジオ・アゼリアで開催されたかわさき人権フェア。

民謡「安里屋ユンタ」「だんじゅかりゆし」・舞踊「踊みくわでいーさー」・エイサー～カチャーシー・・・川崎市に根付き花開いた沖縄伝統芸能、川崎市に感謝の想いを深める日でもあります。



名渡山先生こだわりのエイサー

皆が今気づき始めていることかもしれませんが、一時期エイサーはその本質を忘れかけていた時期があったと思います。エイサーの起源は旧盆の精霊送り、質素な姿の村々の人々はパーランクーや手踊りで先祖の霊を送ったと伝えられています。その起源を探ろうと、名渡山先生が2000年、絃友会エイサーを企画しました。時間や予算の都合上より現代的になった衣装で申し訳ありませんが、その心だけは伝え続けたいと思っています。

